

楽しい&エコな暮らし、いっしょにはじめまし♪



季刊

エコびと

第2号 2010冬

特集： 中村隆市さんと車座トーク

新コーナーも、ぞくぞくスタート

会員突撃インタビュー
エコメン、み~つけたっ
とよたのまちネタ紹介

このミニ冊子は持続可能で豊かな地域社会（エコライフとよた）の実現を目指す
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトが発行しています

ダジャレや言葉遊びが大好き！な

特集：中村隆市さんと車座トーク

12月11日（日）に開催したエコットフォーラム2010の終了後、講師の中村さんを囲んで1時間、車座トークをしました。中村さんの熱い思いの一端が伝わることを期待して、そのときのやりとりを少しだけご紹介します。（文責：小泉達也）

中村：今日の講演では、風邪をひいて声が出なかったせいで、得意のダジャレを披露できず、残念。環境の話は堅苦しくなりがちなので、ユーモアが必要。あれやっちゃダメ、これやっちゃダメじゃなくて。

Q：ここ eco-T は環境学習施設だが、「環境学習施設に行きたい！」なんて人は、ほとんどいない。そんなかしこまったものじゃない、「押し付けじゃない運動」、例えば100万人のキャンドルナイトのようなものを、どうやって生んできたのか教えて欲しい。

中村：もともとキャンドルナイトは、アメリカのブッシュ大統領のエネルギー政策に対する反発運動として始まった。どんどん発電所を増やす、油田開発のためにアラスカの自然保護区を開発する、というのを阻止するために、みんなで電気を消そうという呼びかけが北米から広がった。この運動は一過性のものだったが、私たちチナメケモノ倶楽部が継続的な活動に変えた。2003年に「100万人の…」と名付けると、賛同者がたくさん出てきた。環境省も一緒にやりたいといってきた。義務的にせず、その人なりの自由なやり方で参加できるようにしたのが良かったと思う。

Q：eco-T もいろいろ仕掛けてきたつもりだが、なかなか広がっていかないな、という感じがある。

中村：東京のような都会ではなく、ここ豊田市でも、eco-T 発でも、活動が広がっていく可能性は十分あると思う。キャンドルナイトの成功の要因の一つは、火の力を借りたこと。火にはゆらぎがあり、

スピリットとつながる隠れた力がある。灯りを消して暗さをつくと、周りの人と親密になれる場が生まれる。

Q：豊田市で生まれた地域通貨「おむすび通貨（詳しくはホームページを参照 <http://greens-net.com/butubutu/>）」。玄米本位制でやっている。正直、儲かる取組みではないが、みんなの善意をつなげていく仕事だと思ってやっている。そうは言っても、遊びではできず、事業性が要求される。いかに事業にしていくか。思いを様々な事業にしてきた中村さんの来し方を聞いてヒントを得たい。

中村：私たちナマケモノ倶楽部も、地域通貨「ナマケ」をやっている。使っている紙幣はエクアドルの学校でつくられた再生紙、硬貨はアメリカゾウゲヤシでつくられたもの。この紙幣や硬貨をナマケモノ倶楽部が購入することで、エクアドルの現地にお金を落としている。こういうところからも事業は生まれる。南米では、地域通貨が福祉の役割を果たした実績がある。社会が苦しいときにこそ、地域通貨は役に立つ。

うちの社員は、自給率が高い。夕方、畑へ寄ってから帰宅したりする。給料は安い、生活費はもっと安いので、貯金できる。取材に来たマスコミの方の多くは「こういう半農半 X の暮らしは私には無理」といわれるが、うちの社員は逆に「都会的な暮らしは無理」という。この社員は、もともと東京育ち。でも、慣れて、ここでやっている。つまり、「生き方を変えるとは、習慣を変えること」だ。コツは、少しずつ変えていくこと。「たくさん買えること＝豊かさ」と思っていた人が、「少ないお金で暮らせること＝豊かさ」と感じるように変わった。そういう変化が、実際にうちの社員で起きている。地域通貨は、こういう暮らしにつながる「文化運動」だと思う。

私の知人で、自然学校設立の資金づくりのために、海の水で天然塩をつくっている人がいるが、販路の開拓に困っていた。そこで、その塩と、うちが扱うコーヒーの物々交換が始まり、お互いの顧客

を紹介し合うことになった。この輪の中に、有機農業者や漁師も加わってきた。こういうつながりが事業を育ててくれる。もっと他にも、例えば映画館の空席とか、乗車率の低いバスとか、そういう未利用の資源と組み合わせれば、面白い事業が生まれるのではないが。

Q：最後にメッセージをお願いします。

中村：江戸時代の哲学者、三浦梅園の言葉に「枯れ木に花咲くに驚くより、生木に花咲くに驚け」というのがある。生きている木が毎年花を咲かせること、それは当たり前に見えるが、本当はどんなに奇跡的なことか。そのありがたさに気付くのが大事。人の五感や心臓の脈打ち、宇宙の誕生から今私たちが生きていることまでのつながり、これらこそが本当の奇跡。すべての生命は、奇跡的な存在。



それから、人の意識はつらい現実と直面したとき、「こういう現実を変えるのは不可能、もう無理だ」というマインドになりがちだ。でも、何か一つ変えられれば、マインドも局面も変わっていく。自分の気持ち・心・魂、自分が大事だと思うものを大事にしていくことが、自分自身を幸せにし、他人や社会も幸せにできる。自分が幸せになることを大事にしたい。

中村隆市さんの「ダジャレ&言葉遊び」コーナー

「ミズカラ変えるスイトウ運動」：水筒運動&すいとう(好きだよ)運動：水筒を持ち歩いて、水問題を自ら変えよう。反対ではなく愛を広める運動を。

明日に掛ける箸&箸渡し：中村さんは、一緒に食べる人の分を考えて、いつも5膳分のマイ箸を持ち歩いているそうです。

中村隆市（なかむらりゅういち）さん

（株）ウィンドファーム代表、環境=文化 NGO ナマケモノ倶楽部世話人、スロービジネススクール校長、（有）ゆっくり堂代表。

『スロービジネス』（ゆっくり堂、辻信一との共著）等の書籍あり。

【実施報告】エコット親子バスツアー リサイクル粘土でオリジナル食器を作ったよ



秋晴れの10月16日(土)、エコット初の「親子バスツアー」が開催されました。参加者は20名。元気な男の子軍団や、お父さんと参加してくれた子もいました。

まず訪れたのは、岐阜県土岐市の山津製陶さん。こちらでは、割れたり欠けたりした食器を回収し、砕いて、陶器の材料として再利用しています。豊田市の学校で使われている給食食器もこちらで作られ、回収されています。



粘土が食器の形になり、窯で焼かれたり、釉薬がかけられたりする工程は、初めて見る子どもも多く、とても興味津々な様子でした。

次に向かったのは、多治見市にあるセラミックパーク MINO。こちらの作陶館という施設で、リサイクル粘土を使った陶芸体験をしました。

タタラ製法というやり方で、コップや茶碗を思い思いに作りました。大きなの、小さなの、ハデなの、シンプルなの……。みんなそれぞれ個性的な、素敵な食器ができました。



焼き上がりまでには、8週間ほどかかるそうです。出来あがりが見

しみます。

参加したみなさんからは「陶芸体験が楽しかった」「食器のリサイクルのことを初めて知った」「バスからの景色がきれいだった」など、うれしい言葉をいただきました。お手伝いをさせてもらった私も、とても楽しかったです。

またバスツアーがありましたら、ぜひみなさん参加してみてください！(福間陽子)



** ** * * * * * * * * * * **

【実施報告】こどもエコクラブあったか交流会 こどもも、大人も、応援し隊も、みんな HAPPY

12月5日(日)に、こどもエコクラブ交流会を開催しました。普段はそれぞれクラブごとに活動していますが、なかなかお互いの様子を知る機会がないため、年に数回、交流会を設けています。この日は、5クラブ、32名のみなさんが参加してくれました。



今回の交流会のテーマは「エコゲーム」。様々なゲームを通じてエコを学びました。この日の一番人気は「積み木」を使ったゲーム。各チームに配られた「動物イラスト」を参考に積み木で絵を描いて、他

のチームに何を作ったか当ててもらおうというシンプルなゲームです。

はじめは「みんなできるかな・・・」と少し心配でしたが、各チームともわずか 10 分で、あっという間に力作をそろえてくれました。



「すごい」「かわいい〜」と、出来上がった作品にみんな大喜び。「これならいつでもできそう!」と、かかわった大人にとっても、「今後の収穫」になったようでした。

この日使った積み木は、地元豊田産の木を使った「トコ積み木」。外国産ではなく、日本の材を使うことが山を守り、自然を守ることにつながることを学びました。

お昼は旬の素材でつくった料理を全員でおいしく「いただきます!」メニューは、おにぎり・豚汁・地元野菜のサラダ・鬼まんじゅうなど。エコも学べて、交流もできて、こどもも大人サポーターも、イベントを企画・運営した「応援隊」も、みんな HAPPY な 1 日になりました。(村井孝一)



こどもエコクラブは、2 人以上の仲間(メンバー)と、活動を支える 1 人以上の大人(サポーター)がいれば、いつでも登録できます。お申込み、お問合せはeco-Tまで。

【実施報告】エコドライブ出前講座(本地新田自治区民会館) チーム南家はこんな「気持ち」で活動しています



深田山自治区、逢妻ふれあいまつり、愛知学泉大学と講座をやってきて、今回 11 月 27 日(土)の本地新田自治区で 4 回目の講座となりました。参加者は、組長さんと区民のみなさん、およそ 200 名。練習の成果もあり、楽しんで伝えることができました。(チーム南家の三女 上田有美)

楽しいパワーポイントを目指して毎日!? 徹夜!? 参加者から「よかったよ」と言われると嬉しくて次も頑張れちゃいます(四女 まなみ)

地域へ出掛けエコドライブをレクチャーするとガンバロウと行動している人が多い。出掛ける楽しさと反応が大切です(父 義人)

参加者の反応の良さと雰囲気の良さでテンションがあがっちゃったヨ(長女 ようこ)

一人では続けられない、仲間がいるって素晴らしい。エコドライブを通じて地域の人と触れ合えてうれしい(三女 ゆみ)

今までの講座や、練習を重ねた結果、今回は息ピッタリ!『家族』で伝える良さを改めて感じました(次女 しほり)

伝えたいことがちゃんと伝わったカナ?みんな帰りにやってくれたらうれしいな(母 慶子)



【実施報告】出前講座 in 下山交流館

あの“虫”の話に、びっくりしてしまいました

11月20日(土)に、下山交流館に出前講座に行ってきました。参加者は、段ボールコンポストを実践している方々です。先立ってお越しいただいたeco-T見学時のことを思い出していただいた後、地球温暖化のことを伝え、『はちどりのひとしずく』を読みました。些細なことでも大きな力になることを伝え、自分たちができることを考えました。

段ボールコンポストは、大変な面も多くあります。夏は温度が上がって分解が進みやすい半面で虫が発生したり、ネコや他の動物と格闘したり、冬は温度が上がらないので温めてやったり……。まるで子育てのように、面倒を見ながら進めていきます。でも、できあがった堆肥をつかった作物は、この上なくおいしく、よくできます。そんな楽しみを糧に、これからもめげずに続けていって欲しい、みなさんがリーダーとなって楽しくエコを広げていって欲しいと伝えて、講座を締めくくりました。



ところで、みなさんとの会話の中で、驚いたことがいくつかありました。下山地区は、豊田市の中でも山間部にあり冷涼な気候なのですが、最近は雪が降らなくなってきたとのこと。それから、これまではお目にかからなかった「あの虫」を、近年、見かけるようになったそうです。そう、黒光りして、すばしっこい、アレです。

私としては、「これまで家の中にいなかった」ということに、逆にびっくり！してしまいました。聞くところによると、足助のほうでも状況は似たような感じだとか。昔からアレを見慣れていた私には、ちょっと不思議な感じ。う～ん、豊田市は広いなあ。(岩月桂子)

会員突撃インタビュー(第1回)

正義の味方『エコットマン』の素顔に迫る!?



第1回のゲストは、種子田實郎(たねださねお)さん。eco-Tのインタープリターや劇団めぐり座のエコットマンとしてご活躍されています。そんな種子田さんの知られざる魅力を少しでも多くお伝えできればと思います。

Q: 種子田さんの趣味は?

A: まずは合唱。混声合唱団(レ・マーニ)に1996年に入団し、もう15年も続けている。今のパートはテノールで、もともとはバリトンだった。毎年、東郷町の音楽祭に出ている。昨年からは、団長を務めている。出欠の連絡や練習日の確認など、手間が多くて大変な面もあるが、団員どうしの交流がとても楽しい。以前には、万博関連イベントとしてレイナーホール(現、日本ガイシホール)で開かれた音楽会に娘と2人で参加し、出演した。

それから、今年は百姓を始めた。畑で野菜をつくって、料理を楽しんでいる。買い物から料理、片付け、掃除、洗濯、なんでもやる。主夫もできますね(笑)。

演劇の経験はなかったが、他のインプリさんから声をかけられて、何故かそのまま、めぐり座で活動している。

Q: エコットマンをやっていて、どうですか?

A: 衣装のヘルメットの中が熱くなるのが、少しつらい(笑)。合唱の成果か、後ろの席まで声がよく届いていると思う。みんな、ときどき台詞がとんでしまうこともあるが、楽しくやっている。つい先日、こども園でやったとき、子どもたちの反応がすごく良くて感激した。今後は、第2代エコットマンを発掘していきたい。

Q：他に、心に響いたこと・感動したことは？

A：エコットクッキングの講座をやった時、参加者アンケートに「満足した、楽しかった」と書いてあって、とてもうれしかった。

Q：今後、エコットクッキングでどんなことをしたい？

A：対象に合わせてメニューを考えて、子どもならおやつ、男性なら酒のつまみなど、ワーキングの仲間と一緒に考えていきたい。

Q：これまでのお仕事は？

A：大学で化学を学んだので、関係する会社に入った。省エネや省資源、産業廃棄物の処理や排水処理にも携わってきた。この経験も、今の活動につながっている。

Q：種子田さんがほっと一息つける場所は？

A：南信州に30年前に買った別荘があり、そこでゆっくり過ごす時間がいい。その近くに借りた畑で野菜づくりをしたり、俳句を詠んだりもしている。

Q：とよたエコ人プロジェクトにひとことお願いします。

A：関心のある人たちをもっと引きつけて、eco-Tの館内にとらわれず、各地域で活動できるようになるといいと思う。それから、企業や個人からも資金を出してもらえるようにPRしてはどうか。eco-Tの運営では、インタープリターと事務局の連携を密にして、会議に欠席したインプリもちゃんと情報が得られるように柔軟に対応してくれると、もっと良くなると思う。



<インタビューを終えて・・・>

種子田さんは鹿児島県種子島ご出身で、8人兄弟の4男。ご本人曰く、「頼まれると断れない性格」。多くの活動やグループにかかわりながら、出会った仲間

間に学びを得て、毎日をイキイキと過ごされている種子田さん。とってもキラキラ、まぶしかったです。(会員突撃チーム：野武審・岩月桂子・小泉達也)

やってみました 飲食店でエコつぶやき隊 (み～んなの報告集)

前回の呼びかけにこたえてくださったみなさんの声をお届けします。

メグリア本店に入っているパン屋さんで、**レジ袋をお断り**したら、パンの代金を2円か3円、値引きしてくれました

飲食店ではありませんが、「**海のエコラベルのついたお魚、置いてありますか？**」と聞いてみてください。または、アンケート用紙や、「お客様からの声」に書いたりしてみてください。がんばっているイオンさんは、1年前は1、2点でしたが、今年5月22日の生物多様性の日に、商品数が増え、夏にまたぐっと増えました。でも、他のお店では、ほとんど見かけません……。消費者がこのマークの商品をまず知ることが大切です。漁業関係者のせつかくの頑張りや、そして英断をもって販売をしている流通業者、小売店の意気込みを応援していきたいと思います。

先日、スターバックス豊田店に行つてつぶやいてきました。いつも笑顔の「いらっしゃいませ」があって、うれしいこと。ホットコーヒーはマグカップに入れてくれるので、うれしい。だけど、**アイスは、プラカップに入っているので何でかなあ？ 割れてしまうからかなあ？**……って書いてきました。

豊田市で一番おいしいさぬきうどん屋さんで、もう一軒どこか忘れましたが、マイ箸を使ったあとに「**お箸、軽く洗ってくれないか？**」と言って店員さんに洗ってもらいました。以前、マイ箸の管理不行き届きで、カビが生えたことがあるのと、使って洗う場合にトイレしか洗う場所が見当たらないお店が多い気がしているので、行ったアクションです。数年前に名古屋の高級中華料理やで友人がマイ箸を使っていたときには、店員さんから「洗ってきましょか」と言われたことがあります。素晴らしいお客様への配慮だと思いました。

私がお店でよくつぶやくことは……

「**寒いのでクーラーの温度上げてもらっていいですか？(夏)**」

「**ちょっと暑いので暖房下げてもらっていいですか？(冬)**」

クーラー効きすぎて1枚羽織るってのが、私的には納得いかないのでもちろん、笑顔で

お弁当屋(ほっともつと大林店)で、アンケートはがきをもらってきました。「箸がいらない人もいると思うので、**割り箸は必要ですか？と一声かけて、必要な人にだけ渡すようにするのいいと思います**」と書こうと思います。

エコメン(エコなイケメン)、み~つけたっ(第1回) インターンシップで市民活動の現場をじっくり体験



今回のエコメン
杉浦健太くん(ケンちゃん)
愛知学泉大学3年生
学内ボランティアサークル
『ジョイナス』のリーダー
かえっこバザールやエコ商店
街探検隊などでも活躍

Q: ケンちゃんがジョイナス(ボランティアサークル)に入ったきっかけは?

ケン: 友人に誘われたのがきっかけです。活動を重ねていくうちに、参加者の声・反応にやりがいを感じられるようになりました。子どもたちの反応には、いつも楽しませてもらってます。

Q: インターンシップでは、eco-T 事務局の補助や藤前干潟(名古屋市港区)の保全活動をされたそうですね。

ケン: フィールドを目の前にしたり、人を介したりと、異なるアプローチを体験できたのが、大きな収穫でした。その異なる団体どうしがコラボしたらおもしろそうだなあ・・・と、インターンをやってみて思いました。

Q: 高校時代は陸上競技をやっていたり、家族とキャンプに行ったりと体を動かすことが好きなようですが・・・

ケン: スポーツは大好きです。最近はスポーツだけでなく、砂絵を描いたり、カッティングシート(おしゃれな切り絵)を作ったりしています。いくつか作りましたが、周りの反応もいいのでハマってしまいました!

Q: とっても器用なんですね。では、最後にケンちゃんの夢は?

ケン: 地元の武豊町(知多郡)の自然環境を保護・復元していきたいです。おじいちゃんの話に出てきたような、きれいな海や川を取り戻すことです。



取材をして、「次の世代に豊かな自然環境を残したい」という熱い思いが伝わってきました。やわらかい雰囲気の中に力強さを感じさせてくれるケンちゃん、今後の活躍がとても楽しみです。(エコメンチーム: 栗野理絵、村井孝一、長嶋一枝)

みなさん、この番組
知ってますか~!?

取材を終えて・・・(こぼれ話)

初めてケンちゃんに会ったとき、昔やっていた子ども向けテレビドラマ『チャコちゃんケンちゃん』のケンちゃん役の子にそっくりだったので、勝手に“ケンちゃん”とニックネームをつけて、応援していました。その後、本名も健(ケン)ちゃんだと知ってビックリ! 今回お話しして、eco-Tで最初に会った頃よりも一段と大人になったケンちゃんを感じられて、うれしかったです。(長嶋)

*** ** **

リレートーク「ちょっと気になること」(第2回)

ひとりずつ順番に「ちょっと気になること」を紹介していくリレートーク。今回はeco-T事務局で、もうすぐ3児の母になる杉山佐由紀さん。テーマは、『昔と今: 豊かさって何だろう』です。

「今のこどもは・・・」ってよく耳にするけれど、今の子どもと昔の子ども、それほど違いはないかな~と思う。ただ変わったのは「環境」。そして「親」かなと、最近思う。

私が子どもの頃、秘密基地を作った林も、今ではピカピカのお家ば

かり。遊びたくても遊び場がない。ステキなおもちやがなくても、整備された公園がなくても、空き地や林があれば、今の子どもたちだっている遊ぶはず。そんな力は持っているのに、発揮できない。

「豊かさって何だろう」と思う。そして、子ども以上に親が変わったように思う。自分が子どもの時、当たり前にしてもらっていたことを、今の親はしていないのかもしれない。そして必要じゃないところで、手をだしてしまっているのかもしれない。

オシャレで若い、ステキなママが多い。そんなママたちは言う。『夏休みの学校のプール開放には行かせない』。その理由は、『日に焼けるし、働いているから当番は無理』。そして、スイミングスクールへ通わせる。



昔だって、日に焼けたし、働いていたお母さんはたくさんいた。『地域と一緒に子育てしていく』という文化が、私の地域ではすっかり無くなってしまった。無くなったから仕方ない、じゃ残念すぎる。

私はママ仲間と、今年から市の助成を受けて、自治区の方と一緒に、地域の神社を子どもの遊び場として開放している。口コミで少しずつ、子どもたちが集まってくる。悪さをすれば、地域のおばちゃんに怒られる。そして、子どもたちの遊ぶ傍で、親たちが井戸端会議をする。そんな、昔よくみられた姿を、私のまちに広げたい。今は市の助成を受けているが、大人の力なしで、地域で遊び回る子どもたちが増えることが目標だ。

今の時代、ステキなこともたくさんある。今と昔をいいところどりできたらな～なんて思う。そして私自身、時代から置いてきぼりにならず、オシャレでかわいいお母ちゃんになれたらな～と思う。 (杉山佐由紀)



15

とよたのまちネタ紹介 第1回

とれとれ新鮮な『産直朝市』に行ってみませんか？

生産者と消費者が直接やりとりする

「とよた農産市場」

毎週火・土曜日 9:00~12:00

JA あいち豊田 産直プラザ内

豊田市西町4-24-4

詳細は、下記ホームページをご覧ください

<http://www.ja-aichitoyota.com/sanchoku/ichiba.html>



この朝市で販売している野菜や果物、農産加工品などは、安心・安全で旬のものばかり。値段も、50円、80円、100円、150円・・・と低価格です。ぜひ一度のぞいてみてください。早い時間に行かないと、すぐに売り切れてしまいます。今は、アトピーとかアレルギーの人がとくに多く利用しているようです。ときどき、プロの料理人(中国人?)が朝早く来て、たくさん買っていきます。

実は、私(南谷)もここで4年間、野菜を販売していました。有機農業は想像以上に大変でした。まずは土づくりからということで、小池牧場(豊田市西山町)から牛フンを購入して畑に入れました。この牧場では、牛に与える水からこだわっていて、エサはすべてオーガニックです。ですから、一般の牛乳よりも少し高値ですが、コクがあってたいへんおいしいのです。その牛フンを使った野菜もたいへんおいしくて、体に良いものをつくれました。

さて、産直朝市の話に戻ります。ここの朝市では、一部は予約もできます。生産者ごとに若干味が違うのも面白いです。自分の味覚に合う、好みのものを買って、健康で幸せな生活を送ってくださいね。



(まちネタチーム：福間陽子・上田有美・南谷五郎)

16

主な活動記録一覧 (9/26~10/31)

9月

- 30日 豊田市環境審議会 参加
- 30日 季刊えこびと創刊号 発行

10月

- 2日 エコ商店街探検隊 2010(3日も)
- 3日 エコドライブ市民を増やす取り組み
逢妻ふれあいまつり クイズ・レクチャー(チーム南家)
- 6日 eco-T 運営会議
- 17日 エコトーク第3回
「今さら聞けない?今だから聞ける?フェアトレードの表と裏」
- 23日 若園交流館出前講座(12月5日も)
- 23日 NPO 大学祭 in 学泉祭出展(24日も)
- 23日 公共の担い手塾第2回 参加
- 28日 環境学習コーディネーター育成講座開講(~2月10日)
- 29日 エコドライブ市民を増やす取り組み
学泉大学3年生向けワークショップ(チーム南家)
- 31日 豊森なりわい塾

主な活動記録一覧 (11/1~12/31)

11月

- 2日 展示製作ワークショップ 中間報告会
- 3日 第18回(2010年度第5回)理事会
- 4日 eco-T 拡大運営会議
- 9日 市民活動団体と行政との意見交換会
「市民ができるごみ減量」参加(30日も)
- 13日 公共の担い手塾第3回 参加(27日も)
- 16日 NPO 法人の労務セミナー アドバンス編 参加
- 17日 eco-T スタッフ研修
- 18日 平成22年度展示製作ワークショップ
- 20日 下山交流館出前講座 P.9 参照
- 27日 エコドライブ市民を増やす取り組み
本地新田自治区出前講座(チーム南家) P.8 参照
- 28日 豊森なりわい塾 morimori バザー開催
- 28日 エコトーク第4回
「つないでいこう~自然と調和した暮らしの文化・知恵~」
- 30日 豊田市交流館中部ブロック職員研修 実施

12月

- 3日 eco-T 運営会議
- 3日 展示解説ボランティア育成講座開講(~2月4日)
- 8日 第19回(2010年度第6回)理事会
- 11日 エコットフォーラム 2010 いのちを大切にする仕事
スロービジネス 中村隆市さん講演会&車座トーク P.10 参照
- 17日 中京大学出前授業 市民活動各論
エコ学習と市民活動を企画しよう
- 23日 とよたエコドライブプロジェクト
エコドライブキャッチコピー審査会
- 24日 エコ・キッズスペース リーダー研修
南生協病院・カフェ&レストランにんじん 視察
- 26日 eco-T 大掃除&仕事納め
- 26日 豊森なりわい塾 修了式
- 31日 季刊えこびと第2号 発行

おすすめイベントの紹介&参加者募集(1月~3月)

日時	内容など
1月16日(日) 午前 午後 各1回ずつ 30分程度 (時間調整)	チーム南家と楽しく学ぶエコドライブ もったいないシティを救おう 地球にもお財布にも交通安全にもやさしいエコドライブで運転しませんか。チーム南家と一緒に楽しくエコドライブを学びましょう。環境モデル都市推進課との共働事業です。 場 所:豊田市交通安全学習センター(豊田市池田町小山田494-24) 対 象:小学生以下の子どもと保護者
1月23日(日) 14:00~16:00	未来へのエコトック第5回 カンタン「エコ菜園」から食卓を考える 農業を使わずに野菜の病気を防ぐ「相性の良い植え方」や各家庭でカンタンにできる「生ごみのリサイクル方法」など、誰でもできるノウハウを学びます。 対 象:高校生以上(子ども連れ参加OK、託児なし) 定 員:50名(先着順) 申 込:下記eco-Tまで その他:講座終了後、17時まで講師とのティータイムあり(参加自由)
1月29日(土) 14:00~16:30 (開場13:30)	豊森なりわい塾 成果発表シンポジウム 「都市と農山村の未来を構想する」 2009年から2年間にわたって実施された「豊森なりわい塾」第一期。「山里で自然の恵みに根ざしたなりわいで生きていきたい人、まちに暮らしながら、山里とのつながりの中で生きていきたい人」が集まり、これからの都市・農村のあり方について、ともに考え、活動してきました。豊森なりわい塾の成果を踏まえ、豊田市の都市・農村の未来について考えるシンポジウムを開催します。 場 所:豊田産業文化センター 1F小ホール(豊田市小坂本町1-25) 対 象:小学生以下の子どもと保護者 定 員:240名(定員になり次第締切) 申 込:豊森なりわい塾事務局(TEL:052-331-1043 FAX:052-339-5651) 主 催:豊森実行委員会
2月13日(日) 10:00~15:00 (予定)	かえっこバザール in ナゴヤハウジングセンター豊田会場 かえっこバザールは、おもちゃとおもちゃの交換会です。使わなくなったおもちゃや絵本などを「かえるポイント」に交換して、他のおもちゃと交換できます。ポイントを貯めてオークションに参加することもできます。 場 所:ナゴヤハウジングセンター豊田会場(豊田市竜神町弥生11) 主 催:社団法人ナゴヤハウジングセンター、eco-T
2月20日(日) 14:00~16:00	未来へのエコトック第6回 脱温暖化のための森づくり・まちづくり 「森林」を自然レベルから「地域社会とのつながり」まで広く捉え、日本の森が抱える問題を知り、私たちの暮らしの中でできることを考えます。 対象、定員、申込、その他については、1月23日と同様。

上記のイベント・講座は、**いずれも参加無料**です。

講座等のお申込み・お問合わせは「eco-T事務局」まで

TEL:0565-26-8058

会員のみなさま(2010年12月22日現在) **囲み**は新規会員

正会員 伊吹あゆみさん、岩月桂子さん、上田有美さん、恩田百合子さん、河合志郎さん、栗野理絵さん、小泉達也さん、小泉由美さん、小泉洋子さん、坂本竜児さん、杉浦清美さん、**杉山佐由紀さん**、田上治さん、谷口功さん、谷口陽子さん、種子田實郎さん、中川恵子さん、長嶋一枝さん、野武審さん、萩原喜之さん、福間陽子さん、松浦貴子さん、南谷五郎さん、**村井孝一さん**、山口重春さん

賛助会員 青山克巳さん、赤坂洋子さん、芦辺由岐子さん、粟津銀治さん、板倉三枝子さん、井藤伸比古さん、江口進さん、奥村紀美さん、落合ひろ恵さん、神谷ゆう子さん、後藤美代子さん、**後藤康江さん**、澤田高和さん、山東光子さん、柴田孝子さん、杉浦輝雄さん、種子田雅子さん、**法島準子さん**、早川美代子さん、伴在慶一郎さん、本多慶子さん、南義人さん、宮島芳枝さん、村田紫帆里さん、村松里子さん、安宮勝之さん、吉田香さん、特定非営利活動法人中郡リサイクル運動市民の会



入会&継続
ありがとう
ございました!

現在の会員数は
52名、1団体です

会員募集中(随時受付)

あなたもエコ人メンバーになりませんか?

正会員 10,000円(議決権あり)

賛助会員 一般 1,000円/口

学生 500円/口

営利団体 10,000円/口

非営利団体 3,000円/口

編集後記

新コーナーもりだくさんの第2号、お楽しみいただけましたか? 2011年は卯年。エコ人も3年目を迎え、「ホップ、ステップ、ジャンプ」と元気よく飛び出したいと思います。新年もよろしくお祈りします。(小泉た)

発行・編集 NPO 法人 とよた^{びと}エコ人プロジェクト

FAX 0565-42-2805

2010年12月発行

メール info@t-ecobito.jp

ブログ <http://blog.canpan.info/eco-bito/> **理事のつづきなど**

連絡先 TEL(スタッフ勤務先) 0565-26-8058

【豊田市環境学習施設 eco-T(エコット)】

エコットのホームページ <http://www.eco-toyota.com/>

私たちは豊田市から委託を受けて、環境学習施設 eco-T(エコット)を運営しています